

資料番号

地域 2

令和4年9月14日

課 名 地域政策局中山間地域振興課

担当者 課長 藤谷

内 線 2631

令和3年度

中山間地域の振興に関する 主な施策の実施状況

令和4年9月

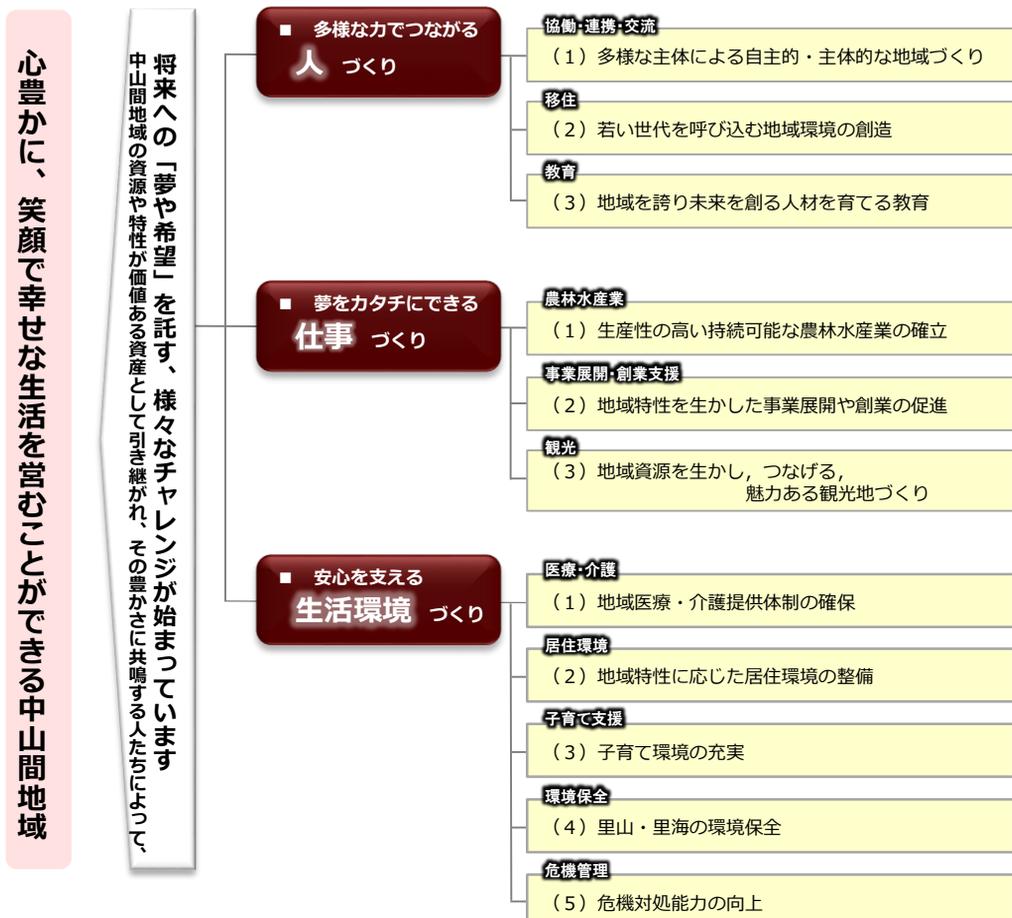
広 島 県

1 令和3年度の取組状況

- 「第Ⅱ期 中山間地域振興計画」(令和3年1月策定)では、これからの5年間を、中山間地域を次世代に託すための力強い土台を築く期間と位置付け、その初年度である令和3年度においては、人づくりの面からは、地域づくりに取り組む多様な人材の裾野の拡大などを進めた。
- 産業面からは、就業機会の創出に向けて、地方進出に関心の高い企業のサテライトオフィスの誘致等に取り組む市町に対する支援の充実強化を図るとともに、生活面からは、生活に身近な課題の解決に資する、デジタル技術を活用した新たなサービスを導入しようとする市町の支援を行った。
- 今後も引き続き、この新計画に基づき、新しいチャレンジが次々と起こる中山間地域の実現を目指して、実効ある施策を着実に推進するとともに、小規模化、高齢化が急速に進む集落の厳しい実態を踏まえた対応の方向性について、検討を進める。

《施策の体系》

～「第Ⅱ期 広島県中山間地域振興計画」から抜粋～



2 主な取組の概要

ひと

(1) 多様な力でつながる 人づくり

- ◇ コロナ禍を踏まえ、オンラインを積極的に活用しながら「ひろしまとやま未来博2021」を開催し、中山間地域の地域づくり活動に関心のある人材の裾野を拡大するとともに、協働による持続可能な地域運営の仕組みづくりに市町と連携して取り組んだ。
- ◇ また、地域の資源と呼べるスポーツの様々な力を活用して、地域の活性化や一体感を醸成するため、スポーツを核とした地域づくりを推進した。
- ◇ さらに、高まりつつある地方移住の機運を取り込み、定住促進につなげるため、広島らしいライフスタイルの魅力をデジタルマーケティングなどの手法を用いて発信するとともに、「ひろしま暮らしサポートセンター」を通じた移住希望者と地域のマッチングやAI移住相談窓口の本格運用などに取り組んだ。

【主な目標の達成状況】

主な指標	基準値(R1)	目標値(R3)	実績値(R3)
人材プラットフォーム「ひろしま里山・チーム500」の登録人数	345人	425人	493人
地域の資源と呼べるスポーツを活用して地域活性化を図っている市町数	3市町 (R2年度)	6市町	6市町
移住希望地域ランキング	2位	5位以内	1位(セミナー) 6位(窓口)
県外からのUIターン転入者数 (全域過疎市町)	271人	281人	235人
地域に貢献しようとする意欲を持っている中山間地域の県立高校生徒の割合	62.7%	80.0%	64.9%

◆ **新たな人材の確保に向けた機運醸成や実践人材の育成【地域政策局】**

新たな地域づくり実践者の確保に向けた機運醸成や実践人材の育成を推進

《ひろしまさとやま未来博 2021》

地域づくり活動を紹介する特設サイトの開設（活動の動画配信等）やオンライン体験プログラム等を提供するオンライン博覧会

- ・特設サイトのPV数：282,247PV
- ・体験プログラム等への参加者数：33,815人

《ひろしま〔ひと・夢〕未来塾》 第7期

実践的な地域づくりや起業に向けたノウハウや手法を学ぶ人材養成塾（オンライン実施）

- ・受講生 26人（起業準備コース：16人，地域密着型人材育成コース：10人）

◆ **ひろしま里山ウェブ拡大プロジェクト【地域政策局】**

地域貢献に意欲のある首都圏の人材を呼び込み，課題解決を通じた地域とのつながりをつくるため，市町と連携した首都圏セミナーや現地実習等を例年実施しており，令和3年度は，3市町で，オンラインを活用した現地実習，課題解決プランの作成や発表会を実施

◆ **「ひろしま里山・チーム500」の運営【地域政策局】**

地域づくりをリードする人材の活動が，将来にわたり主体的かつ継続的に展開していくよう，チーム500に登録する人材を対象に，人材ネットワークの強化，活動に要する資金の調達支援などを実施

《専用ポータルサイトの運営及び交流機会の創出》

〔活動状況〕

〔登録者数〕

	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3
[地域を超えた実践者間の連携拡大]							
➤ チーム500登録者の連携による「さとやまマルシェ」の開催	目標	70人	255人	290人	325人	360人	425人
➤ ポータルサイト改修によるメンバーと関心層との交流促進	実績	70人	260人	294人	345人	381人	493人

《クラウドファンディング（CF）を活用した課題解決支援》

地域内外からの共感獲得に向けた優良プロジェクトの資金調達を支援

- ・成立件数 / 活用件数 7件 / 8件
- ・調達総額 / 募集総額 6,091千円 / 15,400千円（調達率39.6%）

◆ 集落实態調査の実施【地域政策局】

中山間地域における集落の現状を把握し、持続可能な地域運営の仕組みや行政サービスの在り方を検討するための基礎資料を得るため、令和2年度から令和3年度にかけて集落实態調査を実施

- ・集落基本情報調査：中山間地域の全集落（3,339集落）を対象に、人口、世帯数、高齢化率及び生活インフラ等を調査
- ・生活実態調査：459集落で暮らす個人（6,125人）を対象に、地域での困りごとや、移動手段、（書面アンケート分）日用品の確保方法等をアンケート調査
- ・生活実態調査：住民自治組織（100組織）を対象に、住民自治組織による地域活動の現状と課題、高齢独居世帯への支援の状況等をヒアリング調査

◆ スポーツを活用した地域活性化推進事業【地域政策局】

県内市町が主体的に取り組む、様々なスポーツ資源を活用した地域活性化「わがまちスポーツ」に対し、ノウハウや人脈などの人的支援及び補助金による財政的支援を実施

- ・わがまちスポーツ取組市町 6市町

〔取組状況〕

R2年度～ 福山市・北広島町・府中市

R3年度～ 廿日市市・三次市・呉市

◆ ひろしまスタイル定住促進事業【地域政策局】

都市と自然が近接した広島の特性を生かしたライフスタイルの魅力を発信するとともに、移住希望者と地域のマッチングや市町の受け皿づくりを支援

- ・ひろしま暮らしサポートセンター相談数 4,532件（R2：3,812件）
- ・県と市町が連携した定住フェアの実施 4回（相談組数：延べ799組）
- ・移住専用HP「HIROBIRO」の閲覧者 10,344人／月（R2：15,474人／月）
- ・AI移住相談システム「あびいちゃん」登録者数 24,470人

◆ 学びの変革推進事業【教育委員会】

都市部の学校と比較して、多様な価値観や高度な学びに触れる機会が限定されやすい中山間地域の小規模校等において、学校規模や地理的状況に捉われることなく、質の高い学びを享受できる学習環境を整えることで、「学びの変革」の更なる充実に必要な教育環境を全県で整備

- ・中山間地域の高等学校3校と都市部の高等学校1校からなるコンソーシアムを3地域（12校）で構築し、デジタル技術を活用した遠隔教育システムによる遠隔授業の試行実施（R3.10～）

- ◇ 「生産性の高い持続可能な農林水産業の確立」を基本理念とする「2025 広島県農林水産業アクションプログラム」に基づき、地域の核となる企業経営体の育成をはじめ、ひろしま型スマート農業プロジェクト(ひろしまseed box)の実証開始や比婆牛のブランド化に向けた戦略の策定などの取組を進めた。
- ◇ 観光面では、地域資源を活かした観光プロダクトの開発や、デジタル技術等を活用した受入環境の整備などを実施した。また、コロナ禍で広がりつつあるリモートワーク等の働き方の変化などを捉え、企業のサテライトオフィスを誘致する市町の取組を支援するとともに、意欲ある人材の創業や新たな事業展開を支援した。

【主な目標の達成状況】

主な指標	基準値(R1)	目標値(R3)	実績値(R3)
農業生産額※〔※畜産を除く〕	712億円 (H30年度)	718億円	703億円 (R2年度 ^{注1})
広島和牛を肥育する企業経営体の飼養頭数	1,800頭 (H30年度)	1,960頭	2,097頭
経営力の高い林業経営体数	2社	7社	7社
行政・経済団体・金融機関等連携による「オール広島創業支援ネットワーク」を利用した創業件数(全域過疎市町)	18件	現状水準を維持	15件
年間総観光客数(全域過疎市町)	1,543万人	前年高水準を確保	1,114万人

注1：R3実績はR4.12月判明

主な取組

◆ ひろしま型スマート農業推進事業【農林水産局】

本県の中山間地域に対応した「ひろしま型スマート農業技術」の確立に向け企業等や専門家がコンソーシアムを形成し、「ほうれんそう及びこまつなの栽培から販売までの効率的な一貫体系の構築」などの三つのテーマで実証を開始するとともに、技術普及に向けた「ひろしまスマート農業推進協議会」を設立

◆ 先進農業企業参入促進事業【農林水産局】

全国の先進農業企業に対し、県内の参入可能な農地情報等を提供するとともに、大規模な農業参入意向のある県内食品関連企業等に対して、先進農業経営モデルを提案することにより、参入を促進

◆ 経営力向上支援事業【農林水産局】

経営者意識の醸成、経営スキルの向上、経営ビジョンの策定など、経営の発展段階に応じた経営管理の知識を習得する講座を実施

◆ 広島和牛経営発展促進事業【農林水産局】

畜産経営体の飼養頭数の拡大及び広島和牛のブランド化に向けて、和牛受精卵の供給体制を強化するとともに、県内高級飲食店における比婆牛の営業実証を通じてブランド戦略を策定

◆ 林業・木材産業等競争力強化対策事業【農林水産局】

林業・木材産業の成長産業化の実現のため、木材需要の創出対策や県産材の安定的・効率的な供給体制の構築について、川上から川下までの総合的な取組を支援

◆ 水産業スマート化推進事業【農林水産局】

水産資源回復に向けた漁場環境改善等により、瀬戸内の地魚を安定的に供給するため、海底耕うんに取組むとともに、デジタル技術を活用した環境改善効果の検証に着手

◆ 鳥獣害に強い集落等育成推進事業【農林水産局】

農作物の被害額の低減に向け、「環境改善」、「侵入防止」、「加害個体の捕獲」による総合的な鳥獣被害防止対策を推進し、市町支援や被害防止施設等の取組を重点的に実施

◆ 創業・新事業展開等支援事業【商工労働局】

「オール広島創業支援ネットワーク」を通じた創業から創業後の成長までの切れ目ない包括的な支援を実施

◆ チャレンジ・里山ワーク拡大事業【地域政策局】

中山間地域における新しいワークスタイルの見える化と仕事づくりを推進するため、地域資源を活用して企業のサテライトオフィスを誘致する市町を支援

- ・支援対象市町 11市町（呉市，三原市，三次市，庄原市，廿日市市，安芸高田市，江田島市，北広島町，大崎上島町，世羅町，神石高原町） ※アンダーラインはR3から
- ・お試しオフィス利用件数 44社
- ・サテライトオフィス進出決定企業数 27社（累計）

◆ 観光地ひろしま推進事業【商工労働局】

県内周遊の促進や滞在時間の延長に向け、事業者等が行う観光プロダクト開発への支援やデジタル技術等を活用した受入環境の整備のほか、これらの情報を発信するためのプロモーション等を実施

- ・観光プロダクト開発支援件数 4件（全域過疎市町）
- ・デジタル技術等を活用した受入環境整備（R2～3）22件（全域過疎市町）
- ・宿泊事業者に対する感染拡大防止対策等支援 65件（全域過疎市町）

- ◇ 中山間地域における医師の高齢化や医師不足などの状況を踏まえ、将来の中山間地域の医療を担う医師の育成を図るとともに、へき地医療拠点病院が行う無医地区への巡回診療やへき地診療所に対する代診医の派遣などを支援し、中山間地域における医療提供体制の充実に努めた。
- ◇ また、日常生活に不可欠な生活航路やバス路線など、中山間地域における生活交通の維持・確保に努めるとともに、デジタル技術を活用して生活に身近な地域課題の解決に取り組む市町を支援した。
- ◇ 加えて、多様な主体による自主的・継続的な里山の保全活動への支援など、県民共有の財産としての森林を守り育てるための取組を推進するとともに、県民一人一人が、災害から命を守るために適切な避難行動を実践できるよう、被害防止策を実施した。

【主な目標の達成状況】

主な指標	基準値(R1)	目標値(R3)	実績値(R3)
医療や介護が必要になっても、安心して暮らし続けられると思う者の割合	55.6% (R2年度)	58.0%	51.1%
デジタル技術を活用した課題解決モデルの創出	-	4件	3件
安心して妊娠、出産、子育てができると思う者の割合(ひろしま版ネウボウを実施している市町)	80.0%	82.0%	80.7%
手入れ不足の人工林の年間間伐面積	617ha	990ha	826ha
避難の準備行動ができている人の割合	13.6% ^{注1}	26.0%	4.0% ^{注2}

注1:「令和元年度防災・減災に関する県民意識調査」において、「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動行動計画」で掲げる5つの行動目標を全て実践していると回答した人の割合

注2:注1に、「マイ・タイムラインの作成」も要件に追加

◆ **地域医療介護総合確保事業(広島県地域医療支援センター運営事業)【健康福祉局】**

広島県地域医療支援センターにおいて、県育成医師の配置調整や臨床研修病院と連携した初期臨床研修医の確保、ベテラン医師の再就業支援等を実施

- ・自治医科大学卒業医師の配置 20人(13医療機関)
- ・ふるさと枠医師等の中山間地域への配置 35人(7医療機関)
- ・医学生の中山間地域医療機関の診療見学等 73人(2医療機関)

◆ **地域医療体制確保事業(医師確保等)【健康福祉局】**

中山間地域に就業する医師確保のための医学生に対する「広島県医師育成奨学金」の貸付や広島大学医学部で行う地域医療に関する寄附講座の運営を支援することにより、将来の地域医療を担う医師を育成

- ・ふるさと枠医学生に対する奨学金の貸付 112人(新規貸与18人を含む)
- ・その他の医学生に対する奨学金の貸付 14人(新規貸与3人を含む)

◆ **地域医療体制確保事業(へき地医療等)【健康福祉局】**

へき地医療支援機構の調整・指導を受けて、へき地診療所等に対する代診医派遣、無医地区等への巡回診療等を行う、へき地医療拠点病院に対し、その施設・設備整備費及び運営費を助成

- ・移動診療車による巡回診療 県内13か所 / 受診者 延べ1,359人

◆ **オンライン診療活用検討事業【健康福祉局】**

今後の普及が見込まれるオンライン診療・服薬指導について、有効性や安全性等を検証

◆ **へき地等巡回診療【健康福祉局】**

瀬戸内巡回診療船「済生丸」の運航を支援し、離島における住民への医療提供を維持するとともに、地域医療に従事する医師の研修機会を確保

- ・巡回診療船による巡回診療 県内11島しょ部 / 受診者 延べ1,003人

◆ **広島型MaaS推進事業【地域政策局】**

市町等に対する計画作成及び実証実験等への支援

◆ **生活交通確保対策事業【地域政策局】**

地域の幹線的な事業者バス路線を重点的に維持し、広域的な生活交通を将来にわたり安定的に確保

- ・補助対象事業者数 14事業者(補助対象系統数54系統)

◆ **市町生活交通支援事業【地域政策局】**

日常生活を支える市町等運行路線を維持するとともに地域の実情に応じた再編を促進することで、身近な生活交通を将来にわたり安定的に確保

- ・補助対象市町数 20市町(補助対象系統数336系統)

◆ 離島交通対策事業【地域政策局】

国の補助制度を補完し、離島航路所在市町に対して航路の維持・改善を図るための支援を行い、離島住民にとって必要不可欠な生活交通を確保

・支援市町 5市町（呉市、尾道市、福山市、大竹市、大崎上島町） / 支援航路 7航路

◆ デジタル技術を活用した中山間地域の生活環境向上事業【地域政策局】

中山間地域における生活に身近な分野における課題の解決に向け、デジタル技術を活用したサービスの実装に取り組む市町を支援

・デジタル技術の実装に取り組んだ市町 3町（北広島町、世羅町、神石高原町）
 ・基本構想を策定した市町 1市（三次市）

◆ ひろしま版ネウボラ構築事業【健康福祉局】

ひろしま版ネウボラの全県展開に向け、市町と理念を共有した上で、基本型の導入や実施に要する経費等を支援するとともに、ネウボラ相談員の質の向上を図るため、ガイドラインに沿った人材育成研修をオンデマンド配信型で実施

・補助対象市町数（中山間地域を有する市町）
 実施市町 10市町（尾道市、福山市、三次市、北広島町、竹原市、府中市、世羅町、神石高原町、呉市、庄原市）
 導入支援市町 3市町（廿日市市、安芸高田市、安芸太田市）

◆ ひろしまの森づくり事業【農林水産局】

県民全体が享受している県土の保全や水源のかん養など森林の有する公益的機能を持続的に発揮させるため、県民全体で森林を守り育てる取組を支援

◆ 海ごみ対策推進事業【環境県民局】

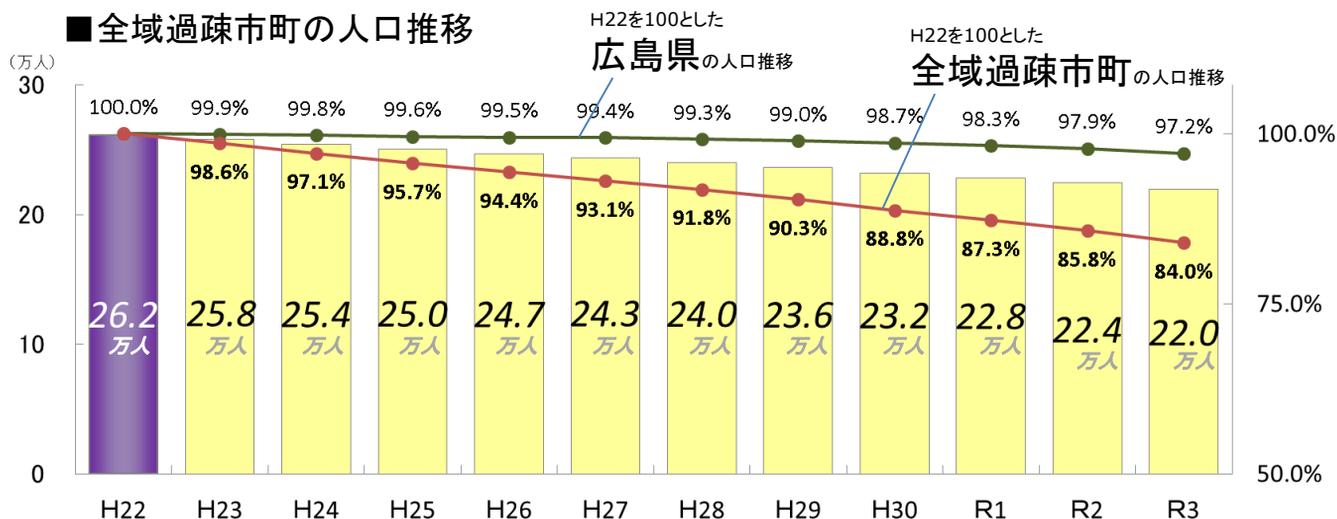
市町が行う海ごみの回収・処理等の取組を支援するとともに、令和3年度に設立した「GREEN SEA 瀬戸内ひろしまプラットフォーム」の参画会員と連携し、海ごみの発生抑制を図るなど、総合的・効果的な海ごみ対策を推進

◆ 「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」推進事業【危機管理監】

県民一人一人が自らの判断に基づき、適切な避難行動を実践できるよう、「ひろしまマイ・タイムライン」の普及促進や自主防災組織による避難の呼びかけ体制構築、初動・応急対応の強化など、「自助」、「共助」、「公助」にわたる、より効果の高い被害防止策を実施

《中山間地域の人口》

〔広島県人口移動統計調査より算出〕



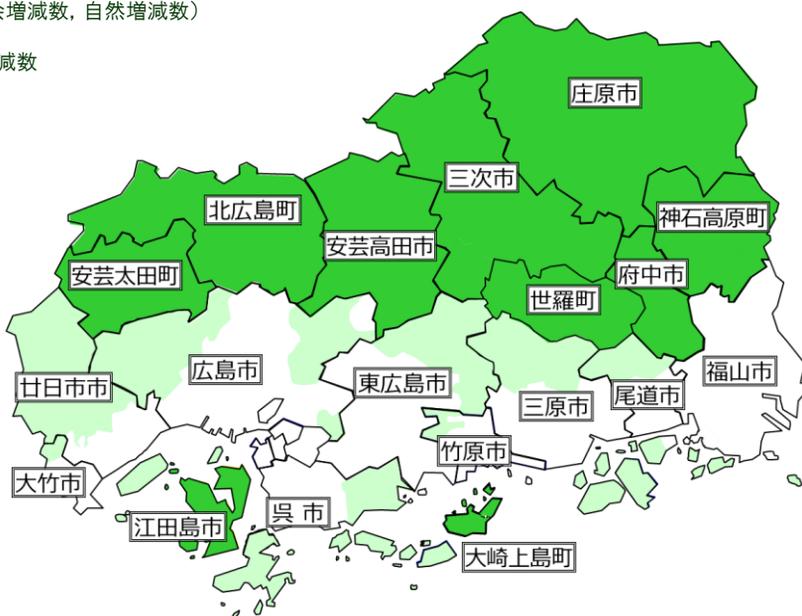
■ 令和3年の市町別人口増減

(令和2年10月1日～令和3年9月30日) (単位:人)

	自然増加	自然減少
社会増加	府中町 878 (800 78)	東広島市 155 (408 ▲253)
	海田町 216 (119 97)	熊野町 ▲129 (35 ▲164)
		廿日市市 ▲244 (146 ▲390)
社会減少		坂町 ▲65 (▲10 ▲55)
		大崎上島町 ▲168 (▲16 ▲152)
		神石高原町 ▲181 (▲39 ▲142)
		安芸太田町 ▲190 (▲66 ▲124)
		大竹市 ▲284 (▲57 ▲227)
		世羅町 ▲296 (▲86 ▲210)
		北広島町 ▲394 (▲206 ▲188)
		安芸高田市 ▲443 (▲70 ▲373)
		竹原市 ▲485 (▲175 ▲310)
		江田島市 ▲593 (▲205 ▲388)
		庄原市 ▲771 (▲273 ▲498)
		府中市 ▲800 (▲361 ▲439)
		三次市 ▲804 (▲306 ▲498)
	三原市 ▲1,673 (▲776 ▲897)	
	尾道市 ▲2,313 (▲901 ▲1,412)	
	福山市 ▲2,909 (▲1,167 ▲1,742)	
	呉市 ▲4,363 (▲2,160 ▲2,203)	
	広島市 ▲4,532 (▲2,504 ▲2,028)	

※ 表中の数値は、人口増減数(社会増減数、自然増減数)
 ※ アンダーラインは全域過疎市町
 ※ 一部中山間地域は、市全体の増減数

■ 全域過疎地域……10市町
 ■ 一部中山間地域…9市



《令和3年度のトピックス》

4月

- 「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」施行(4月)

5月

- 「広島叡智学園高等学校」(大崎上島町)が、国際バカロレアのDP(ディプロマプログラム)の認定校になり、在籍する全ての生徒が一貫した国際バカロレアの教育プログラムを履修する、全国初の公立学校に(5月)

6月

- 海洋プラスチックごみの削減に向けた実効的な対策を県民及び事業者と一体的に進めていくため、「2050 輝くGREEN SEA 瀬戸内ひろしま宣言」を発表(6月)

7月

- 広島県における持続的発展を図るための「過疎地域持続的発展方針」を策定(8月)

8月

- 中山間地域の地域づくり活動に関心のある人材の裾野を拡大することを目的にした、「ひろしま さとやま未来博2021」の開催(9月~12月)

9月

10月

- せとうち広島DCアフターキャンペーン「ミタイケンひろしま」の開催(10月~12月)

11月

- 中山間地域の高等学校と都市部の高等学校が連携し、デジタル技術を活用した遠隔教育システムによる遠隔授業の試行実施(10月)

12月

- 安芸太田町の観光振興を担う官民組織「(一社)地域商社あきおおた」が観光地域づくり法人(登録DMO)に認定(11月)
- 北広島町で活動する100プロの取組、「地域の児童数を100人に！」が令和3年度「ひろしま里山グッドアワード」さとやま未来大賞を受賞(12月)

1月

- 三次市作木町のNPO法人「元気むらさくぎ」が、「第12回地域再生大賞」の中国・四国ブロック賞を受賞(1月)

2月

- 広島市佐伯区の「湯来温泉」が、「温泉総選挙2021」において、温泉総選挙史上初となる総務大臣賞と観光庁長官賞のダブル受賞(3月)

3月